

KAPA2G Fast Multiplex Mix

Version
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

製品のカバーレター:

製品名 : KAPA2G Fast Multiplex Mix
製品コード : 07961421001

本製品はキットとして販売され、以下の部品を含んでいます:

- KAPA2G Fast Multiplex Mix (2X)

以下は、ラベリングキットの構成概要です:

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H371 臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。

注意書き

: **安全対策:**P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。**応急措置:**

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

KAPA2G Fast Multiplex Mix

Version
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

以下の結果を踏まえ、本製品を国際航空運送協会 (IATA) の仕様に沿って評価しました:

規制による割り当て無し

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号 5.3 改訂日: 2024/06/03 前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : KAPA2G Fast Multiplex Mix (2X)

Kapa : KK5801

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70
1080075
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: : カスタマーソリューションセ
ンター
0120-600-152

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試薬
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 2 (中枢神経系)

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 2 (中枢神経系)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H371 臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

の障害のおそれ。

注意書き

安全対策:

P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置:

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
テトラメチルアンモニウムクロリド	75-57-0	>= 1 - < 10	2-186 / 1-215
塩化水素	7647-01-0	>= 0.1 - < 0.25	1-215, 1-215
ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ(オキシエチレン)誘導体	9005-64-5	< 0.1	

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

症状が持続する場合は、医師に連絡する。

- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 臓器の障害のおそれ。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)
塩化水素ガス (HCl)。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎
用結合剤、おがくず）で吸収させる。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避 : 強酸化剤

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ
ならない。

保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照

保管安定性に関する詳しい情
報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
塩化水素	7647-01-0	OEL-C	2 ppm 3 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		C	2 ppm	ACGIH

設備対策 : データなし

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01**保護具**

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 8.8

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

粘度

粘度 (粘性率) : データなし

動粘度 (動粘性率) : データなし

溶解度

水溶性 : 完全に混和性である

溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール／水分配係数 : データなし
(log 値)

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度

比重 : データなし

密度 : 1.018 g/cm³

相対ガス密度 : データなし

酸化特性 : 本製品は酸化性物質としては分類されない。

10. 安定性及び反応性

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報**急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

製品:

急性毒性（経口）	: 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法
急性毒性（吸入）	: 急性毒性推定値: > 20 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 蒸気 方法: 計算による方法
急性毒性（経皮）	: 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

急性毒性（経口）	: LD50 経口 (ラット): 47 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401 GLP: 非該当
急性毒性（経皮）	: LD50 経皮 (ウサギ): > 200 - < 500 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 GLP: 該当

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ（オキシエチレン）誘導体:

急性毒性（経口）	: LD50 経口 (ラット): 38,900 mg/kg
----------	-------------------------------

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01**皮膚腐食性/刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

結果 : 皮膚に刺激性。

塩化水素:

結果 : 火傷を起します。

ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ(オキシエチレン)誘導体:

種 : ウサギ

結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考 : 蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

種 : ウサギ

結果 : 眼への刺激なし

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

塩化水素:

種 : ウシ角膜

結果 : 眼に重傷のおそれ。

曝露時間 : 10 min

方法 : OECD 試験ガイドライン 437

GLP : 該当

ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ(オキシエチレン)誘導体:

種 : ウサギ

結果 : 眼への刺激なし

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
種 : マウス
アセスメント : 皮膚を過敏化させない。
方法 : OECD 試験ガイドライン 429

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

種 : モルモット
結果 : 皮膚感作物質ではない

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)
テストシステム: Salmonella typhimurium
結果: 陰性

試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)
テストシステム: Escherichia coli
結果: 陰性

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験
テストシステム: Escherichia coli
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : バクテリアまたは哺乳類培養細胞を用いた試験において遺伝子の突然変異作用は発現しなかった。

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

成分:**ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:**

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。

成分:**テトラメチルアンモニウムクロリド:**

暴露の主経路 : 飲み込んだ場合
標的臓器 : 中枢神経系
アセスメント : 臓器の障害。

塩化水素:

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 肺, 呼吸器系
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。

反復投与毒性**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

種 : ラット
NOAEL : 5 mg/kg
投与経路 : 経口
方法 : OECD 試験ガイドライン 421
GLP : 該当

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

詳細情報**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

備考 : その他の危険な特徴を除外してはならない。

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

テトラメチルアンモニウムクロリド:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 462 mg/l
 曝露時間: 96 h
 方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.16 mg/l
 に対する毒性 曝露時間: 11 d
 GLP: 該当

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.03 mg/l
 曝露時間: 11 d
 GLP: 該当

LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.86 mg/l
 曝露時間: 48 h
 GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 115 mg/l
 曝露時間: 72 h
 方法: OECD 試験ガイドライン 201
 GLP: 該当

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

塩化水素:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

環境に関係する他の生物 : データなし

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 216 mg/l
曝露時間: 96 hLC50 (Brachydanio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : NOELR (Daphnia (ミジンコ属)): 10 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 211微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): >
10,000 mg/lEC50 (バクテリア): 774 mg/l
曝露時間: 5 h

残留性・分解性

成分:

テトラメチルアンモニウムクロリド:

生分解性 : 備考: 生物分解性があると期待されている

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: > 70 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

生体蓄積性

成分:

テトラメチルアンモニウムクロリド:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

塩化水素:

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

name)
 国連分類 (Class) : 非該当
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
 容器等級 (Packing group) : 非該当
 ラベル (Labels) : 非該当
 梱包指示 (貨物機)
 (Packing instruction (cargo
 aircraft)) : 非該当
 梱包指示 (旅客機)
 (Packing instruction
 (passenger aircraft))

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当
 国連輸送名 : 非該当
 国連分類 : 非該当
 副次危険性 : 非該当
 容器等級 : 非該当
 ラベル : 非該当
 EmS コード : 非該当
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
 非該当

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における
 非危険物

15. 適用法令**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法**優先評価化学物質**

化学名	番号
テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド	17
(アンヒドロ (又はジアンヒドロ) グルシトールとドデカン酸のモノ エステル) と α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ (オキシエチレン) の モノ (又はポリ) エーテル	222

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降
塩化水素	>=0.1 - <1	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	2025 年 4 月 1 日以降

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

非該当

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

2023年4月1日から

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

指定物質 (法第2条4項、施行令第3条の3)

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

AIIC : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Adenosine 5'-(tetrahydrogen triphosphate), 2'-deoxy-

Guanosine 5'-(tetrahydrogen triphosphate), 2'-deoxy-

thymidine 5'-(tetrahydrogen triphosphate)

Cytidine 5'-(tetrahydrogen triphosphate), 2'-deoxy-

KAPA2G Fast Multiplex Mix

版番号
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

NZIoC	:	インベントリに記載されている、または準拠している
ENCS	:	インベントリに従わない
ISHL	:	インベントリに従わない
KECI	:	インベントリに従わない
PICCS	:	インベントリに従わない
IECSC	:	インベントリに従わない
TCSI	:	インベントリに従わない
TSCA	:	TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
TECI	:	インベントリに従わない

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH	:	USA. ACGIH Threshold Limit Values (TLV)
JP OEL JSOH	:	Japan. The Japan Society for Occupational Health. Recommendation of Occupational Exposure Limits
ACGIH / C	:	Ceiling limit
JP OEL JSOH / OEL-C	:	Occupational Exposure Limit-Ceiling

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フ

KAPA2G Fast Multiplex Mix版番号
5.3改訂日:
2024/06/03前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01

イリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

安全データシート

規制 (Regulation) (EU) No. 1907/2006 により



KAPA2G Fast Multiplex Mix

Version
5.3

改訂日:
2024/06/03

前回改訂日: 2024/06/03
初回作成日: 2017/03/01
